

楽しい修学旅行が無事に終了

(美濃加茂市立西中にて胴上げされる) 面作文の筆者



第8回全修協修学旅行セミナー 9月14日・東京で  
主催 財団法人全国修学旅行研究協会  
物館 一階ホール  
J R両国駅徒歩3分  
日時 9月14日(火)14時 連絡先 財全修協本部  
会場 東京都江戸東京博 03・5240・0631

平成6年度 修学旅行費等の

国庫補助金増額を

6月16日に  
文部省へ陳情

全修協・三地区修旅連

財団法人全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(黒澤文雄会長・前芦屋市立潮見中学校校長)の代表は、平成6年度の要保護・準要保護家庭並びにへき地校の児童生徒の修学旅行費、校外活動費に関する国庫補助金の増額について、六月十六日文部省に陳情を行った。



文部省木曾企画官(左)に陳情書を渡す関修協池田会長

修学旅行新聞

発行所 財団法人全国修学旅行研究協会  
発行人 前田 寛  
〒101 東京都千代田区神田錦町1-17-1 (NK第一ビル) ☎03 (5259) 0631 振替 東京 6-36337

- ★ われわれは教育を熱愛し 友愛と信義を基盤とする同志的組織のもとに団結する
- ★ われわれは全修協創設の精神のつとめを公益法人として 児童生徒の幸福のために挺身する
- ★ われわれは修学旅行の改善向上に邁進し 我が国の教育振興に寄与する

平成6年度補助金の要望額 (1人当たり、円)

行事種別	学校種別	要望額
修学旅行	小学校	18,000
	中学校	50,000
宿泊を伴わない校外活動	小学校	1,300
	中学校	1,800
宿泊を伴う校外活動	小学校	3,000
	中学校	5,000

航空機利用修学旅行研究会を  
6月29日 横浜で開催 (財全修協)

近年公立高等学校の修学旅行に航空機の利用を許可する教育委員会が急速に増えており、(財全修協)の平成五年四月一日現在の調査によると、その数は三十八の都道府県・政令指定都市になっている。



研究会には神奈川・群馬・東京の公立高等学校の校長、教諭等百人が参加し、(財全修協)の平成五年四月九日の修学旅行に片道航空機を利用した、神奈川県立平塚商業高等学校が「保護者の同意対応」「緊急事態への対応」「安全確保対策」等諸問題解決の進捗に余裕ができた「生徒の性・経済性・教育性からみた」を明らかにし、また実施した学校の実践経験に立っての評価と課題からの問題提起を行って、各方面への参考に資することを目的に、六月二十九日(火)、ワシントン横濱で「高等学校修学旅行研究会」航空機利用の修学旅行を開催した。

京都で海外からの観光客に人気のあるのは、やはり杜若・庭園だという。国際観光振興会のアンケート調査によると、87%がそれを挙げ、金閣寺・清水寺・二条城がベスト3になっている。杜若といえは、ドイツの哲学者ヤスパーズ氏が「完成された人間最高の存在の理念の表現」と絶賛したことを思い出す。最近では大覚寺とその周辺を陶板画にまとめたフランスの画家もある。オリビエ・ドゥブレ氏が、一九七〇年の万博のとき、訪れたのがきっかけだった。大沢の池と融け合った大覚寺の古雅なたたずまいに心を引かれ、その後も数回訪れてスケッチを重ね、この程二・五・横五・五メートルの大陶板画を完成した。デュニャのハミダ・ウワハダ氏は、祇園祭の山鉦巡行を六枚のワール製の織織に仕上げた。いずれも二メートル四方もある大きなものだが、七月、祇園祭は山鉦巡行で最高潮に達する。都市化の波で町衆が減少したため、曳き手の募集を始めてから十年になる。年々留学生も増え、曳き手や「つじ回し」の補助等に協力している。過去から未来へ続く歴史の中を歩いているように、最高の思い出になった」と感想を述べた留学生もいる。▼地下鉄丸線も国際会議まで延伸することが決まり、七月三日に起工式が行われた。修学旅行のメッカ古都も建都千二百年を控え、国際化への足取りが更に進んでいるようだ。(北)

主張

「試み」のある修学旅行を求めて

木村 康 男

つい先日、三つの試みを組み込んだ本校の修学旅行は無事終了したが、その折に味わった成功や充実感が、生徒たちの自信と誇りを生み出し、日常生活にも弾みがついたように思われる。私は、修学旅行の試みについて、校長としての期待を込めて次のように書いた。

『今回の修学旅行では、二つの新しい試みが組み込まれています。一つは、東京での班別研修で、それぞれの班が、自ら選んだ見学コースを自分の責任と協力で巡り、旅館に帰った後、二つの試みを合わせて組み込んだ「善意を育てる」活動では、見学地等でも「ゴミを拾うだけでなく、ブルタフも拾い集めて、この学年が四月から取り組んでいる「車いす施設へ送る運動」の一助としたのである。』

この二つは、いずれも皆さんの主体的な構えと責任ある行動にかかっていると思えますが、この四月からの皆さんの生活ぶりを見てみると、見事な姿勢を示しているように思われます。(中略)

あと半月、学年全員が心を一つにして新しい試みにチャレンジすることも、私たちが大切にしたい。善意を育てる「面でも、努力、一輪の花」を咲かせ、やり切ったという成就感を味わいたいものです。』と。

今回、二つの試みを合わせて組み込んだ「善意を育てる」活動では、見学地等でも「ゴミを拾うだけでなく、ブルタフも拾い集めて、この学年が四月から取り組んでいる「車いす施設へ送る運動」の一助としたのである。

と、私が、校長として修学旅行に参画し、経験したのは、三校九回であるが、そのいずれのときでも、私は一つの願いをもって臨み、その願いの具現に向けても努力してきた。その願いとは、今日の意義を持つ幾つかの試みを組み込んだ修学旅行にしたいということである。

そうした試みは、職員や生徒を受け身から主体的かつ積極的な構えに姿を変えていくからだ。また、試みは盛りに込む内容に応じて、その学年の主張を生み出していかうから。

思えば、試みは、取り組む過程で、参加者に相応の努力を強いるが、しかし正対する中で、すばらしい連帯と協力を生み出していかうからである。そしてその試みの成功は、生徒に自信と誇りをもたらしてくれるものだと考える。

私は、そうした意味で、試みのある修学旅行を志向してきたのであるが、その際、必ず配慮してきたことが二つある。

一つは、「生徒の自主的実践的行動」の機会と場を保障してきたことである。もう一つは、「奉仕・ボランティア活動」をいつの間にか組み入れてきたことである。特に後者については私の教育信念と深くかかわっている。

私は、これまで、どの学校においても、それぞれ「VS (ボランティア) 活動」「GI (善意) 活動」「一人一ボランティア活動」を提唱し、心豊かで実践力のある生徒の育成に努めてきたが、日常生活で培ってきたその力を、修学旅行の場でも発揮させ、修学旅行をより意義あるものにしたと考えるべきである。

今日、個性化の時代とか、国際化の時代とか、あるいは、大きな変化の時代とも言われている。私たちは、そうした時代の流れの中に身を置きながら、不易と流行を見極め、「生徒にとって価値ある修学旅行」を問い求めているかなければならない。

(・岐阜県美濃加茂市立西中学校校長 岐阜県中学校長会理事 全国中学校国語研究会副会長)

信頼される旅づくり

心にあざやかな思い出を  
ツールの  
修学旅行。

近畿日本ツールの  
運輸大臣登録一般旅行業第20号 (社) 日本旅行業協会会員

楽しい修学旅行を、  
より安心  
より快適に  
「学校旅行総合保険」  
をおすすめします。

東京海上火災保険株式会社  
本店 東京都千代田区丸の内1-2-1 ☎03-3212-6211(代表)

# 感動した修学旅行

岐阜県美濃加茂市立西中学校

吉田 誠

五月二十三日午前六時、朝日がまぶしい快晴の中、僕たちは「絆」を合言葉に未知の街、東京へ足を踏み入れました。

今年から、大きく変わったことが三つありました。

一つ目に、班六人だけで東京都内を旅行する班別研修です。この班別研修を成功させるために多くの時間を費やしました。当日は、今まで行ってきたすべての成果を真剣に見つめ、涙を流して

果がはつきり出ました。道に迷うことがあっても一人一人の知恵を出し合い乗り切ることができ、日本の中心都市の規模の大きさを実感することができました。

しかし、一部の班が集合時刻に間に合わず、多くの入京都市内を旅行する班別研修に迷った経験がありました。でも遅れたことにさせるために多くの時間を費やしました。当日は、今まで行ってきたすべての成果を真剣に見つめ、涙を流して

悔いる姿に、心を打たれました。

二つ目に、昨年までは学校で行われていた進路講話を修学旅行で行うことになりました。僕は、進路講話とは、かたてまつりなものでなく、講義の神田君の話が、僕たちにとっての将来について大きな励みになりました。

三つ目に、学校生活の中で取り組んできたボランティア活動を修学旅行でも行うことにしました。二百五十九人で二万個のフルトッ

プを集めようという整美委員長の呼び掛けで、班別研修中などに一生懸命集めた修学旅行で行ったことになりました。四十三百個集めたことが出来た。これは、学年でも取り組んでいる「車いすを送る運動」にも生かされた活動になりました。

この旅行の目的は数々の活動を通して、仲間との絆を深めることでした。それを一番深めることができたのは、なんといっても帰りの新幹線、バスの中でした。自分のすべてをさらけ出し、笑顔、笑い、叫ぶことによって仲間の本当の良さを知ることができたと思います。

バスの中で「帰りたいくない」といつて泣いた女の子の涙、「もう二度と同じ旅行はできない」といつて泣いたG組の仲間と共に過ごした時間は僕たちの心から永久に消えることはないでしょう。そして、この旅行で育てたものを大切に、今後の生活に生かしたいと思っていま

蔵省に陳情を強化していく必要がある。

六、小遣い・おやつ代について、三地区の平均値からみて一万円前後が妥当な額と考えられる。

小遣いの決まりについては昭和62年度は決まり有り92%、平成4年度は82%で5.0ポイント減、生徒の自主性に任せるは、昭和62年度1.6%、平成4年度は6.3%で4.7ポイント増となっている。

このことから少しづつ生徒の自主判断に任せる傾向に進むのではないかと考えられる。

一方、おやつ代については

## 修学旅行不参加の理由は心の病が体の病を上回る

### 平成4年度関東・東海・近畿公立中の修学旅行実施報告を集計

(財)全国修学旅行研究協会(山本種一理事長)と、関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連合委員会(黒澤文雄会長・前声屋市立潮見中学校長)は「平成4年度修学旅行実施報告」の結果をとりまとめた。

この調査は関東五県、東海一県、近畿二府三県の一

二、宿泊数  
3泊4日は近畿地区のみ(47校32%)、関東、東海地区は2泊3日(100%)。近畿地区の泊数が一日多いのは、往路または帰路に車中泊あるいは船中泊を利用しているためである。生徒の健康管理の上から、できる限り夜行列車等の利用は避けたいものである。

三、参加人数  
昭和63年度より一、生徒数は毎年減少の傾向を続ける。生徒数の減少に伴い、一般的には学校規模は小規模になることが予想されるが、それ以上に学校数の変動はあまり見だわることができない。したがって専用列車に多数校が乗車するといった傾向は続くものと思われる。このことから、生徒指導の一層の充実強化が望まれる。また、旅館確保の面からは問題を残すこととなる。

四、修学旅行不参加生徒の状況  
継続調査を実施している関東五県についてみると、在籍生徒数の減少にもかかわらず、不参加生徒数は漸増の傾向が見られる。不参加の二大理由(体の病気33%、心の病気(長期欠席・登校拒否等)47%)によるもので58%となる。特に本年度注目されるのは、体の病気が減少していることである。

五、修学旅行の費用  
平成4年度の要・必要保護生徒一人当たりに対する国庫補助金単価は四五一〇円、関東地区五県の同費用の父母負担単価は平均五〇八九四円である。その差額は五七九四円である。

修学旅行は全員参加の建前から、今後とも修学旅行費等の国庫補助金の単価引上げについて、文部省、大

七、引率教員  
引率教員数については、各都道府県・市町村教育委員会の修学旅行実施基準による。昭和63年度を境に引率教員一人当たりの引率生徒数は漸減の傾向を示している。

修学旅行は実施形態の多様化の時代を迎えた。特に班別自主活動を実施する学校が近年急増している中で引率教員数の確保のため、出張旅費の増額、引率基準の見直し等が必要となる。

おわりに  
平成4年度の修学旅行は経済的不況の中で実施された。修学旅行にかかわる国庫補助金は国の緊縮財政のため陳情額を下回った。同補助金を受けている生徒にとっては大きな負担増が予想され、修学旅行に不参加になる場合も考えられ憂慮に堪えない。

平成4年度からは関東地区に加え、東海、近畿地区を含め広範囲な地域を対象に本調査を実施した。関係各位の御協力に感謝の意を表したい。

表1 不参加2大理由の変遷(関東)

年度	心の病気	体の病気
昭和63年	11.5	60.0
昭和64年	13.8	61.5
昭和65年	15.4	53.1
平成元年	20.0	54.6
平成2年	27.7	52.3
平成3年	33.8	45.4
平成4年	42.5	33.3

表2 平成4年度 県別・方面別1人当たりの修学旅行費(単位:円)

県・方面	平均	前年度平均	前年度差	増減率	最低値	最高値
茨城県	55,527	52,765	+2,762	+5.23	46,269	70,733
栃木県	51,449	50,024	+1,425	+2.85	39,989	63,852
群馬県	51,597	50,410	+1,187	+2.35	42,651	79,226
埼玉県	48,090	46,293	+1,797	+3.88	36,756	63,704
千葉県	52,632	50,934	+1,698	+3.33	39,922	62,168
関東方面	50,885	49,031	+1,854	+3.78	36,756	79,226
東海方面	51,128	49,703	+1,425	+2.87	41,065	62,168
近畿方面	50,894	49,069	+1,825	+3.72	36,756	79,226
前年度	49,069	47,412	+1,657	+3.49	36,068	71,959
増減	+1,825	+1,675	+160	+0.23	+688	+7,267
東海	48,793	*	*	*	40,370	59,944
近畿	52,070	*	*	*	45,484	59,494
奈良県	49,883	*	*	*	45,311	54,827
京都府	54,827	*	*	*	40,170	75,574
大阪府	48,793	*	*	*	37,445	71,403
兵庫県	51,190	*	*	*	40,996	68,100
関東信州	53,824	*	*	*	39,000	62,100
信州北陸	44,629	*	*	*	37,445	54,421
中国九州	48,542	*	*	*	40,472	56,389
九州	49,553	*	*	*	42,142	75,574
近畿	50,774	*	*	*	37,445	75,574

東京タワー、国会議事堂を間近に望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。

東京 コマ旅行会館

## 首都東京を見て、何かを!

東京ドームもすぐ近く  
お泊りは 都心の  
経験豊かな  
**本郷の旅館へ**  
本郷旅館協同組合  
〒113 東京都文京区本郷4-36-3 TEL 03-3813-9381

## 美しく 伊勢志摩 伊勢内宮前 岩戸屋へ

内宮前でのお食事は階上・階下共1,500名様までお楽にお食事が出来ます。お食事ご休憩にご利用下さい。

伊勢市内宮前 **岩戸屋**  
伊勢内宮前(〒516)  
TEL <0596> 23-3188(代)  
テレックス 4969-503 イセイワトヤ

## 座禅体験で "心、リフレッシュ!!"

清潔、安全、快適、安心のお宿

本館	17室	194帖	120人
比叡	28室	260帖	200人
北嶺	15室	160帖	130人
計	60室	614帖	450人

〈国際観光旅館〉  
比叡山 **延暦寺会館**  
TEL 0775-78-0047・0554  
TEL 5464-917  
FAX 0775-79-5053